

安全データシート(SDS)

作成日 2008年5月8日

改定日 2024年4月1日

1. 製品及び会社情報

製品名： 水溶性防腐剤 P

会社名： 出光NTG株式会社

住所： 川崎市幸区堀川町580 ソリッドスクエア東館15階

電話番号： 044-386-1659

FAX番号： 044-386-4159

推奨用途及び

使用上の制限： 工業用防腐防カビ剤

整理番号： 437701200

2. 危険有害性の要約

国・地域情報： ・該当しない

GHS分類：

物理化学的危険性：・分類できない又は区分に該当しない

健康に対する有害性：

急性毒性（経口） ・区分4

皮膚腐食性／刺激性 ・区分1

眼に対する重篤な損傷性

／眼刺激性 ・区分1

皮膚感作性 ・区分1

特定標的臓器毒性

(反復ばく露) ・区分1(精巢)

環境に対する有害性：

水生環境有害性 短期(急性) ・区分1

*上記に記載がない危険有害性は、分類できない又は区分に該当しない。

GHSラベル要素：

絵表示：



注意喚起語： ・危険

危険有害性情報： ・飲み込むと有害

・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

・長期にわたる、又は、反復ばく露による

精巢の障害

・水生生物に非常に強い毒性

H code

(H302)

(H314)

(H317)

(H372)

(H400)

注意書き：

〔安全対策〕

- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・この製品を使用する時には、適切な個人用保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)及び作業衣を着用すること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後は、うがいをして、手、顔などをよく洗うこと。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・製品の容器は、転倒、落下、衝撃、引きずりなど、乱暴な取扱いをしないこと。
- ・製品はこぼれないように取扱うこと。
- ・この製品は水生生物に対して毒性があるので、環境への放出を避けること。

〔応急措置〕

- ・漏出物を回収すること。
- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理して吐かせないこと。
- ・飲み込んだ場合：気分が悪いときには医師に連絡すること。
- ・皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・直ちに医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・皮膚刺激又は発しんが生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

〔保管〕

- ・製品の品質保護のため、0℃以下又は40℃以上になる場所には保管しないこと。
- ・容器は密閉し、換気の良い冷暗所で保管すること。
- ・施錠して保管すること。

〔廃棄〕

- ・内容物及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区分：	・混合物
化学名又は一般名：	・イソチアゾリン系化合物の混合物
CAS No.:	・2634-33-5
官報公示整理番号(化審法)：	・(9)-1845
含有量：	・非公開

4. 応急措置

- 吸入した場合: ・空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合: ・汚染された衣服や靴を脱ぎ、製品に触れた部分を多量の水又は石鹼で15分以上洗浄すること。
- ・洗浄後も異常が認められる場合は医師の診察/手当てを受けること。
- ・汚染された衣服は着替え、再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合: ・直ちに清浄で適温の緩やかな流水で15分間以上洗眼すること。
- ・速やかに医師の診察/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合: ・コップ1～2杯の水を飲ませて、ゆっくりと希釈させること。
- ・無理に吐かせずに速やかに医師の診察/手当てを受けること。
- ・意識がない場合には、無理に水を飲ませないこと。

***いずれの場合においても直ちに医師の診察/手当てを受けること。**

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤: ・水/炭酸ガス/粉末消火剤/アルコフォーム
- 使ってはならない消火剤: ・知見なし
- 特有の有害危険性: ・知見なし
- 特有の消火方法: ・消火作業は風上から行うこと。
- ・容器を放水により冷却すること。
- 消火を行う者の保護: ・防災保護具を着用すること。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項: ・漏出時の処理を行う際には必ず保護具を着用すること。
- ・必要に応じた換気を確保すること。
- ・着火した場合に備えて、消火器材を準備すること。
- ・多量の場合、人を安全な場所に避難させること。
- 環境に対する注意事項: ・漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を
起こさないように注意すること。
- 封じ込め及び浄化の方法
及び機材: ・多量の場合には可能な限りせき止めし、ポンプなどで回収する
こと。
- ・少量の場合には砂・ウエス等で吸収させ、密封容器に回収する
こと。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策: ・皮膚、眼へのばく露防止のため、長袖の作業衣を着用し、
適切な保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)を装着すること。
- ・製品のミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・製品は漏れ、あふれ、飛散しないよう注意して取扱うこと。
- ・取扱い後にうがいをし、手、顔などをよく洗うこと。
- ・製品の容器は、転倒、落下、衝撃、引きずりなどの乱暴な
取扱いはしないこと。
- 局所排気、全体換気: ・十分な排気下で取扱う。必要に応じて、局所排気設備を
用いること。

保管

- 保管条件:
- ・使用の都度、容器を密閉すること。

・容器は、施錠した換気の良い冷暗所に、一定の場所を定めて保管すること。

・製品の品質保護のため、0℃以下又は40℃以上になる場所や雨水、直射日光のあたる場所、湿気の多い場所には保管しないこと。
- 容器包装材料:
- ・消防法及び国連輸送法規に規定されている容器を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度:

許容濃度	管理濃度 (厚生労働省)	許容濃度 (日本産業衛生学会、2020年度版)	ACGIH(2017) TWA
製剤として	記載なし	未設定	データなし

- 設備対策:
- ・換気設備又は局所排気設備を用いること。
- 保護具
- 呼吸器の保護具:

・呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具:

・皮膚への接触を避けられる保護手袋を着用すること。

眼の保護具:

・ゴーグル型もしくは側板付き普通眼鏡型を着用すること。

皮膚、身体の保護具:

・皮膚への接触を避けられる耐薬品性の保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観:
- ・淡黄色～褐色透明液体
- 臭い:
- ・淡いアミン臭
- 融点／凝固点:
- ・0℃
- 沸点又は初留点
- ／沸点範囲:
- ・100℃以上
- 可燃性:
- ・データなし
- 爆発下限界及び上限界
- ／可燃限界:
- ・データなし
- 引火点:
- ・沸騰するまで引火せず
- 自然発火温度:
- ・データなし
- 分解温度:
- ・データなし
- pH:
- ・10.0 (20℃)
- 動粘性率:
- ・データなし
- 溶解度:
- ・水に可溶
- n-オクタノール／水分配係数:
- ・データなし
- 蒸気圧:
- ・データなし
- 密度及び／又は相対密度:
- ・1.14 (20℃)
- 相対ガス密度:
- ・データなし
- 粒子特性:
- ・データなし

10.安定性及び反応性

反応性:	・知見なし
化学的安定性:	・通常の使用下では安定である。
危険有害可能性:	・知見なし
避けるべき条件:	・酸性物質との接触を避けること。
混触危険物質:	・酸性物質、酸化剤、還元剤
危険有害な分解生成物:	・知見なし

11.有害性情報

別紙参照

12.環境影響情報

生態毒性:	・別紙参照
残留性・分解性:	・データなし
生体蓄積性:	・データなし
土壤中の移動性:	・データなし
オゾン層への有害性:	・データなし
他の有害影響:	・知見なし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物:	・おがくず・珪藻土などに吸収させて法規に基づき、行政が認定した焼却炉で少量ずつ焼却すること。 ・取扱いについては、「7.取扱い及び保管上の注意」を参照のこと。
汚染容器および包装:	・内容物を完全に除去した後、法規に従い産業廃棄物処理業者等に処分を委託すること。

14.輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報:	・労働安全衛生法、消防法等に定められている輸送方法に従うこと。
海上規制情報:	・船舶安全法に定められている輸送方法に従うこと。
航空規制情報:	・航空法に定められている輸送方法に従うこと。
特別の安全対策:	・運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

国際規制

国連番号:	・3267
国連分類:	・クラス8 (腐食性物質)
容器等級:	・容器等級II

15.適用法令

消防法:	・非該当
労働安全衛生法:	・法第57条の1(令第18条)表示対象物質 1,2-ベンゾチアゾリン-3-オン,34% (2025年4月1日施行予定) 物質A,社外秘(2025年4月1日施行予定) プロパン-1,2-ジオール,社外秘 (2025年4月1日施行予定)
	・法第57条の2(令第18条)通知対象物質 1,2-ベンゾチアゾリン-3-オン,34% (2025年4月1日施行予定) 物質A,社外秘(2025年4月1日施行予定) プロパン-1,2-ジオール,社外秘 (2025年4月1日施行予定)
	・皮膚等障害化学物質(不浸透性の保護具等の使用義務物質) 1,2-ベンゾチアゾリン-3-オン(皮膚刺激性有害物質) 物質A(皮膚刺激性有害物質)
化学物質排出把握管理 促進法(PRTR法):	・非該当
毒物及び劇物取締法:	・非該当
化審法:	・優先評価化学物質 No.106 プロパン-1,2-ジオール
船舶安全法:	・危規則第2,3条危険物告示別表第1
航空法:	・施行規則第194条危険物告示別表第1

16.その他の情報

- ・労働安全衛生法(通知・表示)対象物質の含有率は、混合物のため含有の可能性のある最大値を掲載しております。
- ・労働安全衛生法の社外秘記載箇所につきましては、別途秘密保持契約書締結により開示させていただきます。

参考文献

1. 国連GHS文書 改定6版 (2015)
2. JIS Z 7252:2019 「GHSに基づく化学物質等の分類方法」
3. JIS Z 7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
4. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)公開データ
5. 弊社入手の製品安全データシート及び入手資料

* 注意

安全データシートは危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者はこれを参考とし、自らの責任において個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。
従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

別紙
有害性情報の詳細

GHS区分	分類	分類の根拠
急性毒性（経口）	区分4	LD ₅₀ : 1,870mg/kg (ATEmix) 活性成分のLD ₅₀ : 670mg./kg （ラット♂）
急性毒性（経皮）	分類できない	データなし
急性毒性（吸入）	分類できない	データなし
皮膚腐食性／刺激性	区分1	皮膚に対する可逆的損傷の症例がある成分(区分1)を5%以上含むため。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1	眼に重大な障害を及ぼす可能性がある成分(区分1)を3%以上含むため。
呼吸器感作性	分類できない	データなし
皮膚感作性	区分1	皮膚接触により過敏症を誘発する症例が見られる成分(区分1)を1%以上含むため。
生殖細胞変異原性	分類できない	データなし
発がん性	分類できない	データなし
生殖毒性	分類できない	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1	区分1の成分を10%以上含むため(精巢)
誤えん有害性	分類できない	データなし
水生環境有害性 短期(急性)	区分1	区分1の成分が25%以上含まれるため 魚類(ニジマス)の96時間LC ₅₀ =1.6mg/L ErC ₅₀ (72hrs):0.11mg/L(藻類)から区分1とした。
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない	データなし
オゾン層への有害性	分類できない	モントリオール議定書の附属書に記載されている化学物質を含まないため、分類できないとした。